

第22回生徒会交流会を開催

7月30日(木)八幡防災センター研修室において、市内の8中学校の生徒会代表が集まり、「第22回生徒会交流会」が開催されました。

今年の交流会は、郡上東中学校の生徒が司会進行を務め、各校が委員会の活動や生徒集会、生徒会行事の取り組み等、生徒会スローガン達成に向けての活動状況を発表しました。

各校の発表後は、それぞれの学校の良さを認める発言や、自らの活動に生かすための質問など、活発な意見交流が行われました。

問 教育委員会学校教育課
67・1468



第4回郡上市小中学生郡上おどり発表会



8月1日(土)八幡町本町において、第4回小中学生郡上おどり発表会が行われました。

この発表会は、ふれあい懇談会(市内の代表中学生在市長と語る会)において、「郡上の伝統をいつまでも守り続けるための会を計画してほしい」と中学生が発案し、実現したものです。

問 教育委員会学校教育課
67・1468

第4回郡上かるた大会開催について(予告)

12月5日(土)午前9時〜午後0時30分
やまと総合センター

場 ①小学生低学年部門
②小学生高学年部門
③一般部門(中学生・高校生・成人・家族)

④招待部門(特別支援学校生) ※3人1組のチーム戦
※150チーム募集します。

郡上かるた大会スタッフ募集
大会当日のボランティアスタッフを募集します。ご協力いただける人は、実行委員会事務局までご連絡ください。

郡上かるた大会協賛企業募集
大会を盛り上げていただける企業・団体を募集します。

①協賛金10万円以上
②協賛品10万円以上の副賞として品物9組
※ご協力いただいた場合、企業(団体)名を当日配布する冊子に掲載するとともに、会場にて掲示させていただきます。

問 教育委員会社会教育課(郡上かるた大会実行委員会事務局)
67・1128

地域包括支援センター だより

こんな症状はないですか?
●口の中に痛いところがある
●入れ歯が合わない
●口臭が強い
●食事の量が減った
●食べるのが遅くなった
●むせるようになった
●よく熱を出すようになった
●あまり話さなくなった

歳をとっても 口を元気にしよう

お口や歯は、健康に生活するためにとても大切なものです。みなさん、お口の手入れは、しっかりされていますか。

お口の中をきれいにしていないと、汚れがたまってしまい、「誤嚥性肺炎」などの感染症にかかりやすくなります。

また、歯や入れ歯の調子が悪いと、食事が十分にとれず、体が弱ってしまうことがあります。歯は、食べることはもちろん、話すことや、顔の表情を若々しく保つことなど、大切な役割を持っています。



お気軽にご相談ください
お口の中はあまり見えないため、手入れが後回しになることがあります。健康な生活のため、お口の中も気にかけるようにしましょう。

郡上歯科医師会 在宅歯科医療連携室(岩谷歯科医院内)
88・4155

地域包括支援センターは 高齢者の総合相談窓口です

認知症のこと
介護保険のこと
消費者被害のこと
財産管理のこと

電話 67-0008

図書館だより 137回

「郷土のDNAを受け継いだ人たち」

かつて木曾川の水運によって栄えた岐阜県八百津町は、山国でありながら解放的な風土を育んでいったようです。そんな町に生まれ育った作家の池井戸潤さんとバグメーカーの創業者吉田茂さんを紹介します。

9月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

※わら分室は、日月祝日が休館になります。
※めいほう分室は、第1土曜日以外は土日祝日が休館になります。



池井戸潤 1960年、生まれる。慶應義塾大学卒業後、三菱銀行(現三菱東京UFJ銀行)に入行、1995年退職。2011年『下町ロケット』で直木賞を受賞。
吉田茂 1933年、生まれる。高校卒業後、皮革問屋に就職。1968年(株)吉田オリジナル(現・俵イビサ)を設立。2004年取締役会長に就任。

池井戸さんは子どもの頃から、図書館にある国内外のミステリーを読みあさる日々を送りました。特に江戸川乱歩賞受賞作は必ず買って読むほどで、いつか自分でも書きたいと思うようになったそうです。銀行を退職した後、それまでの経験を生かしたビジネス書を書いていましたが、1998年『果つる底なき』(講談社)で第44回江戸川乱歩賞を受賞し小説家デビューを果

図書館行事一覧

行事名	日程	時間	館名
「白山ユネスコエコパーク」の紹介	8日(火)~30日(水)		本館
おはなしひろば	毎週(土)	14:00~	〃
おとなの学校「石徹白御師の檀那場巡回をたどるII」	12日(土)	10:00~	〃
おとなの学校「郡上雑穀ものがたり-粟でムコ取りヨメもらい-」	27日(日)	10:00~	はちまん
	13日(日)		
おとなの学校「百姓給候類(救荒植物)」	26日(土)	10:00~	〃
おはなし会	12・26日(土)	14:00~	〃
おはなし会	毎週(土)	10:30~	やまと
おはなし会	12日(土)	10:30~	たかす
おはなし会&工作	26日(土)	10:30~	みなみ
おはなし会	5日(土)	10:00~	めいほう
おはなし会	19日(土)	14:00~	わら

吉田さんは「皮革についての知識を生かして自分なりにもの創りをしたい」という情熱から、イタリアでバッグづくりの修行をしました。最後に訪れたスペイン・イビサ島で、ヒッピーたちが作った素朴で安価なバッグに魅了されました。笑顔で手渡されるバッグは吉田さんが描いていたイメージとぴったり合致したのです。「もの創りとはなにか」を教えてくださいました。

池井戸さんは「イビサ島から『イビサ』の歴史がはじまりました。池井戸さんはエンターテイメント小説を書くことでオリジナリティが認められ、吉田さんは世界にたった一つのバッグというオリジナリティで領土を築いてきました。2人に交友があるのは単に同郷というだけではなく、その精神に共通するものがあるからかもしれません。

池井戸さんの小説『ようこそ、わが家へ』に描かれているバックブランドはイビサがモデルで、当然ながら店頭の商品も青山シヨールームそのものだそうです。